

Course number	U-LAS15 10009 LJ58				
Course title (and course title in English)	地球の営みII - 地球史 How the Earth Works II -Earth's History		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KOGISO TETSU	
Group	Natural Sciences		Field(Classification)	Earth Science(Foundations)	
Language of instruction	Japanese		Old group	Group B	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・Second semester
Days and periods	Mon.5	Target year	All students		Eligible students For liberal arts students
[Overview and purpose of the course]					
<p>地球は、今からおよそ46億年前、原始太陽系星雲の中で、融けた岩石と金属からなる「火の玉」として誕生した。その頃の地球は、金星・火星・水星とお互いに似たような惑星だったらしい。しかし、その後の歴史の中で、地球だけに生命が誕生し、ついには人類という知的生命体が繁栄できるまでに至った。なぜ地球だけが、他の惑星とは違う運命をたどったのだろうか。そこには、どのような必然性と偶然性があったのだろうか。</p> <p>本授業では、地球を地球たらしめている要因は何か、という視点を軸にしながら、46億年という悠久の時間の中で、地球が生命惑星としてどのように進化してきたのか、その変動の歴史を解説する。</p>					
[Course objectives]					
地球史上の重要な出来事についての知識を基に、地球という惑星の特殊性・普遍性、地球が現在のそのような姿になったことの必然性・偶然性に関して自ら考察し、「自分なりの地球観」を持つ。					
[Course schedule and contents]					
以下のテーマについて、1テーマあたり1～2週の講義を、フィードバックを含めて全15回分行う。					
<ol style="list-style-type: none"> 1．太陽系と地球の形成 2．プレートテクトニクスの始まり 3．生命の誕生と進化 4．大気の進化 5．大陸の形成と分裂 6．全地球凍結 7．生命の大進化と大絶滅 8．気候の温暖化と寒冷化 9．人類の歴史と地球環境 					
[Course requirements]					
高校での地学履修は前提としない。地球に興味がある人は誰でも歓迎。授業中に必要となる知識については、授業内で適宜解説する。					
[Evaluation methods and policy]					
授業への参加状況と、講義のテーマに対応して課す課題（複数回）の内容で評価する。課題は、自分なりの地球観で論考できているか、という観点で評価する。詳細は第1回目の講義時に説明する。					
----- Continue to 地球の営みII - 地球史(2)					

地球の営みII - 地球史(2)

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業中に紹介する参考文献の関連部分を読むことを推奨する。

[Other information (office hours, etc.)]